

ポスター発表（一般会員の部） 会場：P2 (301 教室)・P3 (302 教室)

—P2 (301 教室)—

- P115 トドマツ立枯れ木の腐朽にともなう枯死材利用昆虫の遷移
○ 小野寺賢介（道総研林業試）
- P116 オオトラカミキリの室内飼育における幼虫の食害様式と蛹室形成について
日下部良康・○ 岩田隆太郎（日大・生物資源）
- P117 温度適応の地理集団間差異：アズキゾウムシを例として
○ 津田みどり¹・鹿児島久美子²・柳真一³（九大院・農¹・九大院・農²・九大・総合研究博物館³）
- P118 アズキゾウムシの地理集団間における生体アミンが引き起こす交尾後行動の変異
○ 山根隆史（中央農研）
- P119 血縁個体と交尾したアズキゾウムシのメスは再交尾しやすい
○ 原野智広¹・香月雅子²（九大・理・生態¹・岡山大・進化生態²）
- P120 カシノナガキクイムシ雄成虫による交尾前チャープ
○ 大谷英児・所雅彦（森林総研）
- P121 タバココナジラミ内部細菌共生系を成立させる分子機構の解明と新規病虫害制御法開発に向けた取り組み
○ 藤原亜希子・土田努（富山大・先端）
- P122 チャバネアオカメムシにおける腸内共生細菌の多型と生物的機能
○ 細川貴弘・菊池義智・深津武馬（産総研・生物プロセス）
- P123 チャバネアオカメムシ人工共生系：大腸菌感染系の確立およびカロテノイド合成能の適応度効果
○ 石井佳子・細川貴弘・菊池義智・深津武馬（産総研・生物プロセス）

- P124 マルカメムシ類共生細菌のゲノム比較による植物適応機構の解明
○ 森山実¹・二河成男²・細川貴弘¹・深津武馬¹(産総研・生物プロセス¹・放送大・教養²)
- P125 クサギカメムシ共生菌 *leu* オペロンの解析
○ 小林秀昭¹・野田博明²・竹石桂一² (日本大学・薬学部・ゲノム創薬学研究室¹・農業生物資源研究所²)
- P126 都市部のスズメバチにも寄生性天敵はいるのか?
○ 佐山勝彦¹・高谷文仁² (森林総研北海道¹・北大植物園²)
- P127 ミツバチ属働きバチの退縮した受精囊の形態
○ 後藤彩子¹・ビレンヨハン²・伊藤文紀³ (琉球大・農¹・K.U. Leuven²・香川大・農³)
- P128 樹上性ヤマヨツボシオオアリへのセロトニン投与による影響
○ 小山哲史・田中菜穂子・佐藤俊之 (農工大 農)
- P129 シジミチョウとの共生におけるアリのパートナー認識機構
○ 北條賢¹・山本有里²・秋野順治²・山岡亮平²・辻和希¹ (琉大・農¹・京工繊大・応用生物²)
- P130 トゲオオハリアリの性モザイク個体における雄性発生
○ 土畑重人¹・下地博之¹・大西一志¹・長谷川英祐²・辻和希¹ (琉球大・農¹・北大・農²)
- P131 オオシロアリ野外巣のカスト組成・性比と共生原生生物組成
○ 北出理・高津戸香 (茨城大・理)
- P132 アブラムシにおける社会システムの制御メカニズム
○ 柴尾晴信¹・高梨琢磨²・沓掛磨也子³・松山茂⁴・深津武馬³・嶋田正和¹ (東大・総合文化¹・森林総研²・産総研³・筑波大・生命環境⁴)

P133 ダイズアブラムシ *Aphis glycines* の生活環型の地理的変異
○ 鏡味知里^{1, 2}・岡裕実英³・村井保¹ (農工大連大・生物制御¹・富士フ
レーバー(株)²・宇都宮大・応昆³)

P134 オオシロカゲロウの卵休眠終了に及ぼす環境要因の効果
河村昌徳・藤安史彦・○ 中村圭司 (岡山理科大・総合情報)

P135 マメハンミョウの擬蛹休眠終了に及ぼす温度の効果
寺尾美里・廣瀬譲・○ 新谷喜紀 (南九州大院・園芸昆虫)

—P3 (302 教室)—

P136 繁殖戦略が対照的な寄生蜂同胞種 2 種の寄主探索における学習パターンの
違い
○ 笹川幸治・内島健太・柴尾晴信・嶋田正和 (東大院・広域)

P137 スワルスキーカブリダニの生存に対する数種薬剤の影響期間
宮田将秀¹・○ 宮本武彰¹・山中聡² (宮城農園研¹・アリスタライフサイ
エンス (株)²)

P138 不妊虫をどれだけ放飼すればイモゾウムシを減らせるのか?
○ 栗和田隆¹・熊野了州²・城本啓子²・原口大³・小濱継雄³ (九沖農研¹・
沖縄防技セ²・沖縄農研³)

P139 クリタマバチと導入および在来寄生蜂の個体数変動 —30 年間の動向—
○ 志賀正和・外山晶敏・三代浩二・中野亮・井原史雄 (農研機構果樹研)

P140 チュウゴクオナガコバチ国内初回放飼地 (つくば市) の現況
○ 屋良佳緒利・守屋成一 (中央農研)

P141 サツマイモを加害する 2 種ゾウムシにおける卵の共食いとギルド内捕食
○ 滝澤匡¹・久場洋之² (琉球産経¹・沖縄防技セ²)

- P142 UV-LED 点滅光源のタバコシバンムシに対する誘引性
○ 岩本啓秀・土屋聡志・高橋竜太 (JT・葉たばこ研究所)
- P143 ライトトラップに飛来する蛾類への超音波の効果
○ 渡辺雅夫 (山口大・院理工学 (理))
- P144 マツチップから発生した発酵ガスによるマツノマダラカミキリ幼虫の殺虫
○ 江崎功二郎 (石川県林試)
- P145 ワックスレス型耐虫性キャベツを札幌市で栽培したときの害虫等の発生消長
○ 高篠賢二・伊藤正仁・小西和彦 (北海道農業研究センター)
- P146 ダイズシストセンチュウに防除効果を示す *Lecanicillium* 属菌融合株がサツマイモネコブセンチュウに及ぼす影響
○ 荻野瑠衣¹・森万菜実¹・相内大吾²・小池正徳¹ (帯広畜大・環境微生物¹・帯広畜大・原虫病センター²)
- P147 牧草－畑作物間の害虫の移動パターンの推定
○ 仲島義貴¹・五月女央起¹・赤坂卓美²・滝久智³・田淵研⁴ (帯畜大・昆虫¹・北大農院・森林生態²・森林総研・森林昆虫³・東北農研⁴)
- P148 ナスミバエの与那国島産増殖系統は沖縄島産野生系統と交尾可能か？
○ 原口大¹・小濱継雄¹・栗和田隆²・広吉聡³・水田佳範³・太田愛子⁴・松山隆志⁴ (沖縄農研セ¹・九沖農研²・第一農薬³・沖縄防技セ⁴)
- P149 活性炭処理土壌における土壌処理殺虫剤利用技術の検討 (第3報) 活性炭処理7年後の土壌における殺線虫剤の失活
○ 松澤清二郎・遠藤昌伸・中野潔 (新潟園芸研)
- P150 アメリカミズアブの抽出物の植物病源菌に対する抗菌活性
○ Park Kwanho (NAAS)

- P151 Effects of sublethal concentrations of two insecticides and the action mechanisms on the feeding behavior of *Myzus persicae*
○ Koo Hyun Na · Park Sang-Eun · Kim Gil-Hah (忠北大学校 · 昆虫生態毒性学研究室)
- P152 チャバネアオカメムシとマルボシヒラタヤドリバエに対する季節性、密度、年変動を考慮した景観の効果
○ 滝久智¹ · 田淵研² · 飯島勇人³ · 岡部貴美子¹ · 外山晶敏⁴ (森林総研¹ · 東北農研² · 山梨県森林研³ · 果樹研⁴)
- P153 北海道中央部のカボチャ畑におけるポリネータとしてのセイヨウミツバチ *Apis mellifera* の相対的重要性
○ 松本崇¹ · 山崎一夫² · 木村澄¹ (草地研ミツバチ研¹ · 大阪市環科研²)
- P154 昆虫由来物質が有するプリオン形成抑制作用の解析
○ 濱中大一 · 堂浦克美 (東北大 · 院 · 神経化学)
- P155 昆虫外骨格に存在する生体防御因子
○ 朝野維起¹ · 田岡万吾² (首都大 · 理工 · 生命¹ · 首都大 · 理工 · 化学²)
- P156 温度上昇がマメゾウムシ体内の結合水比率に及ぼす影響
○ 鹿児島久美子 · 津田みどり · 石橋勇志 · 井上眞理 (九大院 · 農)
- P157 減圧ストレスに対するミジンコの応答
○ 丸岡 奈津美 (高崎女子高校)